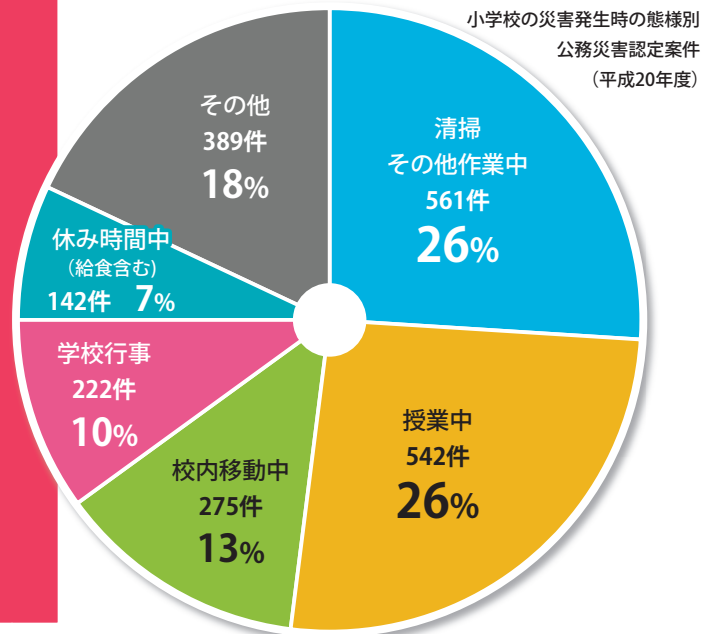


# 教育職員の 公務災害

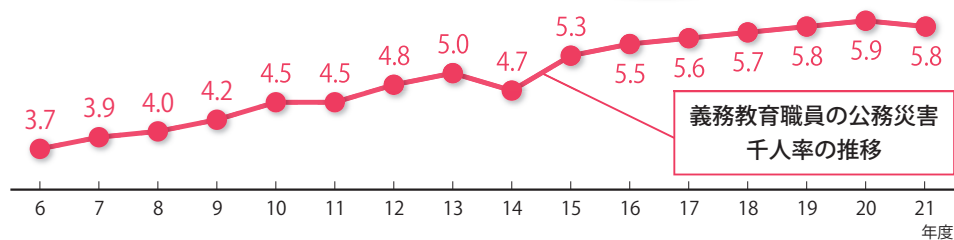
## 小学校の現場に向けて

平成20年度  
公務災害認定  
DATA

|                    |         |
|--------------------|---------|
| 地方公務員              | 26,525件 |
| うち教育職員             | 7,201件  |
| うち給食調理員等を除く分析可能データ | 5,166件  |
| うち小学校教員            | 2,131件  |
| 小学校教員1,000人当たり認定件数 | 4.9件    |
| 小学校100校当たり認定件数     | 9.6件    |



教育職員の公務災害発生率  
が、徐々に増えている傾向  
にあります。



このリーフレットは、平成20年度認定の小学校教育職員公務災害案件2,131件（事務職員・給食調理員・用務員・分析不能案件を除く）を、災害の発生しやすい状況ごとに分類し、災害の傾向を、実際の認定事例とともに示し

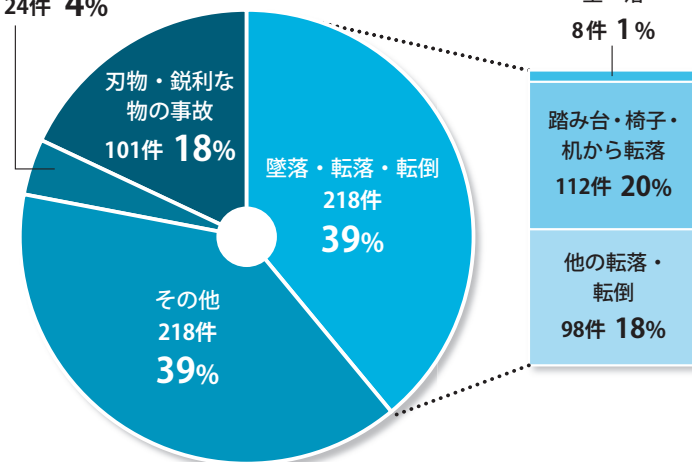
たものです。

公務災害防止は、まずその実態を知ることから。小学校の教育現場における安全衛生の向上、公務災害の未然防止に是非お役立てください。

## 踏み台・椅子・机からの転落に要注意

## 清掃その他作業中の事故

ドア・窓の事故  
24件 4%



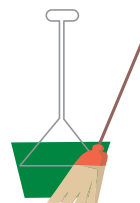
「清掃その他作業中」の事故は561件と、小学校の公務災害の中で最も多い態様です。

この中では「墜落・転落・転倒」事故が最も多く、中でも「踏み台・椅子・机からの転落」がよく見られました。

他に「刃物・鋭利な物の事故」「ドア・窓の事故」も多く見られました。

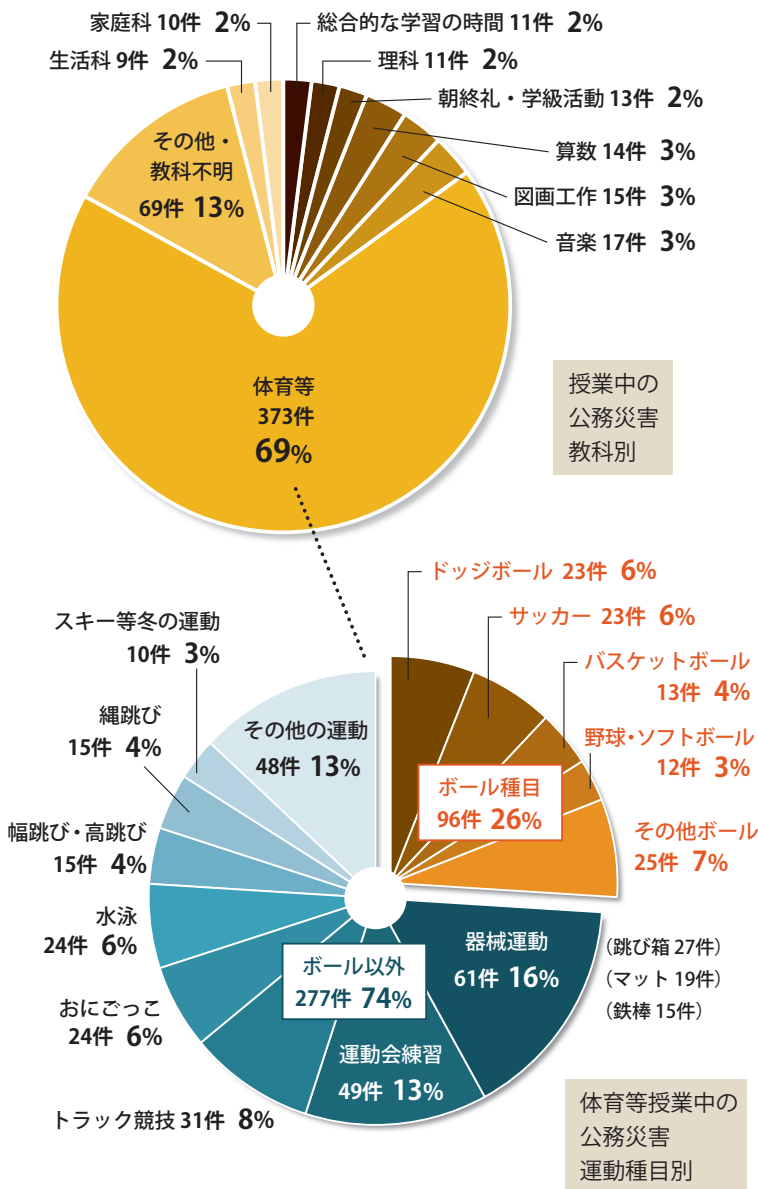
### 【清掃その他作業中の公務災害事例】

- 給食用テーブルに椅子を載せ、掲示物を貼る作業中、バランスを崩し椅子から落下し左踵を骨折した。
- はしごに登り、地上約4mのスクリーンをはずした際ははしごがすべり倒れ、背中から転落し負傷した。
- 裁断機を使用中、ストッパーが掛かっておらず、自然に降りてきた刃に指先が触れ負傷した。
- 体育館でパイプ椅子を片付け終わり収納扉を閉めたとき、足の指を挟み負傷した。
- 運動会の準備のため複数の教員と共にテントを立てていたところ、支柱に指を挟み負傷した。
- ウサギに餌を与えるとき、噛まれて負傷した。
- ストープに立て掛けていた火掻き棒を片づけようと手で触ったところ、棒が高温になっており火傷した。
- プール消毒の際、機械操作を誤り、塩素を大量に吸引し、呼吸器障害を起こし負傷した。
- 垂れ幕を作成中、スプレー塗料が誤って目に入った。
- 体育倉庫内を清掃中、棚に顔面をぶつけ、負傷した。



## 体育の授業に集中。器械運動・運動会練習に警戒を

## 授業中の事故



「授業中」の事故は542件と、小学校の公務災害の中で2番目に多い態様です。

教科別に見ると、最も多いのが「体育等」でした。

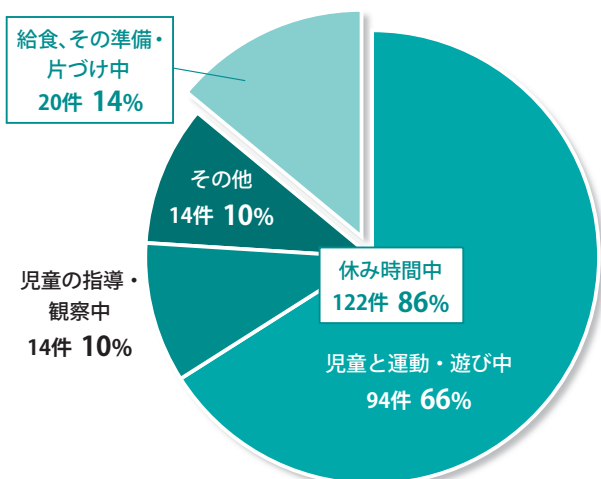
「体育等」の中で、運動種目別に見ると「器械運動」「運動会練習」「トラック競技」「おにごっこ」「水泳」「ドッジボール」「サッカー」が多く見られました。

### 【授業中の公務災害事例】

- 跳び箱から落ちそうになった児童の補助を急いで行った際、児童のかかとが右目に当たり、負傷した。
- マット運動の後転の見本で、頸椎に痛みを感じた。
- 運動会種目の綱引き練習中、綱から足をはずすタイミングを誤り地面に倒れ、右手と腰を強打した。
- 児童の投げたドッジボールを捕ろうとした際、右小指にボールを当て、負傷した。
- サッカーで児童の蹴ったボールを蹴り返そうとしてバランスを崩して転倒し、左手を負傷した。
- ポートボールで、ボールを取ろうとジャンプした際、タスキ掛けしていた笛が右眼にあたり負傷した。
- マラソン指導中、児童の様子を見るため後ろ向きに走り、網かごに足をとられて転倒し骨折した。
- 鬼ごっこで、児童を追いかけていたところ、バランスを崩して転倒し足首を負傷した。
- 水泳指導中、プールサイドで滑って転倒した。
- 音楽の授業中、児童の肩がオルガンのふたに当たり、ふたが倒れ、小指を挟んで負傷した。
- 図画工作の指導中、カッターでペットボトルの底を切る際に、刃が滑り大腿部に刺さり負傷した。
- 朝の会で、教壇の段差を踏み外し、足首を捻った。

## 楽しい児童との運動・遊び時間にも危険が

## 休み時間（給食含む）の事故



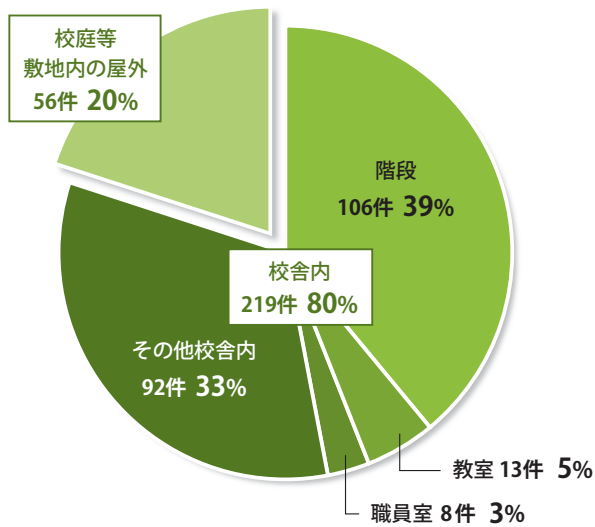
「休み時間中（給食含む）」の事故は142件で、「児童と運動・遊び中」が最も多く見られました。

### 【休み時間（給食含む）の公務災害事例】

- 児童とおにごっこを行い、追いかけられ進行方向を変えた際、転倒し負傷した。
- 児童とドッジボールを行い、ボールをよけようとジャンプし着地した際、アキレス腱を負傷した。
- 児童とバスケットボールを行い、ボールを取り損ねて薬指を強打し、負傷した。
- 児童とサッカーを行い、ボールを蹴ろうとした瞬間足のふくらはぎに激痛を感じた。
- 児童とのふれあいのため遊具で遊んでいたところ、足を滑らせ転倒し、膝と頭部を負傷した。
- 給食時間、児童同士のけんかを制止しようとしたところ、一方の児童に手をつかまれ負傷した。

## 移動中も油断は禁物。階段からの転落に用心を

## 校内移動中の事故



「校内移動中」の事故は275件で、最も災害に遭いやすい場所は「階段」でした。続いて「校庭等敷地内の屋外」が多く、ほか校内のさまざまな所に見られました。

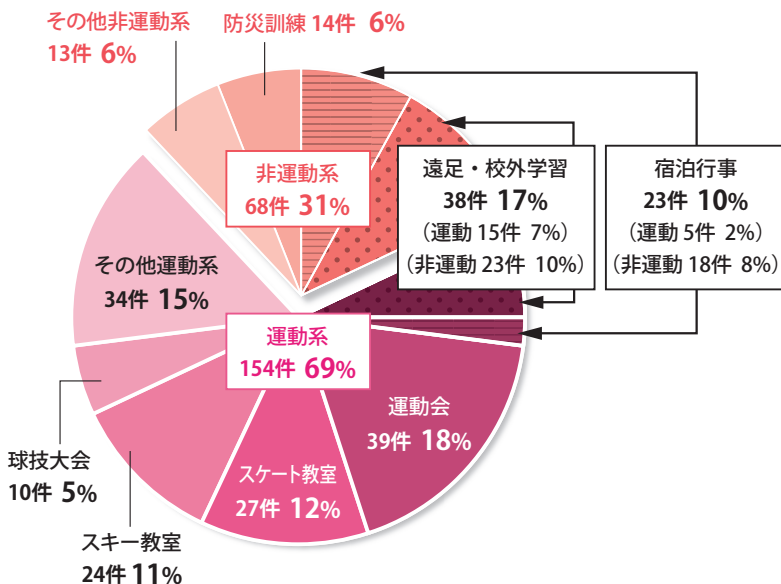
### 【校内移動中の公務災害事例】

- 階段で移動中、箱を抱え足元が見えなかったため、踏み外し、左膝を強打し負傷した。

- 校内放送で呼び出され、急いで階段を駆け下りて、最後の段を踏み外し、足を着く際捻って強打した。
- 階段でつまずき、バランスを崩し前方に転倒した際に、右上眼部を負傷した。
- 階段の踊り場から1歩踏みだしたところ、足を滑らせて後ろへ転倒し、とっさについた右手を骨折した。
- 肢体不自由特別支援学級の児童を、階段昇降機を使用し昇っていたところ、児童の頭部を支えながら中腰の姿勢だったため、腰に負荷がかかり負傷した。
- 学校玄関前において、凍結した路面に足をとられ、転倒し、肩を負傷した。
- 校庭を走っていたところ、地面の凹凸につまずいて転倒し、顔面を地面に強打し負傷した。
- 側溝の蓋のへこみに右足をとられて捻り、第5中足骨を骨折した。
- 両手に荷物を抱え職員玄関前を歩いていたところ、段差に気づかずつまずき転倒し、負傷した。
- 勢いよく廊下を走ってきた児童と衝突して、胸部に児童の頭部が激しく当たり負傷した。

## 運動会、遠足・校外学習、スキー・スケートが危ない

## 学校行事の事故



「学校行事」の事故は222件で、案件の3分の2以上が「運動系行事」でした。

行事別で多いのが「運動会」「遠足・校外学習」「スケート教室」「スキー教室」「宿泊行事」「防災訓練」「球技大会」の順となりました。

### 【学校行事の公務災害事例】

- 騎馬戦に補助参加し、児童に裸足を踏まれ負傷した。

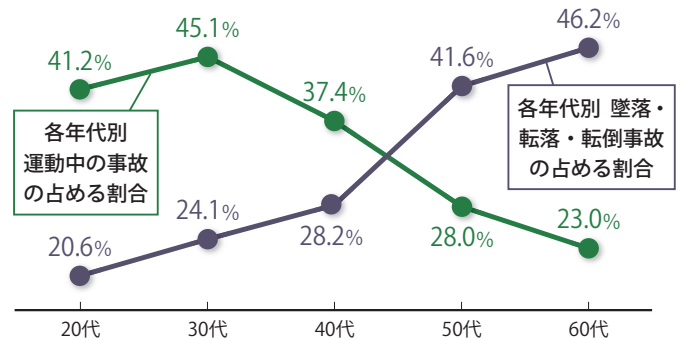
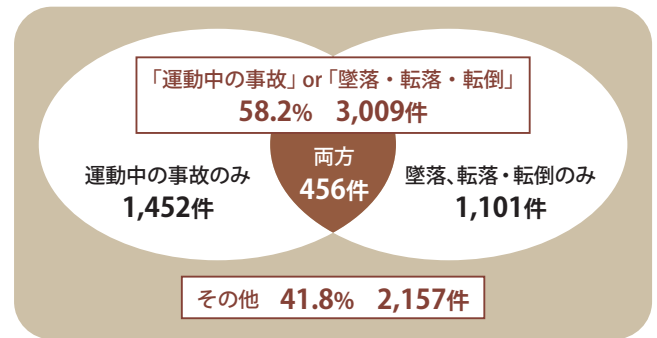
- 運動会のリレーで、バトンを受ける際、転倒した走者と接触し、自分も転倒し負傷した。
- スケート教室で実技指導中、後方に転倒し負傷した。
- スキー教室で滑走中、ゲレンデの凸凹にスキー板を取られて転倒し、左手小指の副靭帯損傷を負った。
- お別れ球技会のドッジボールで、ボールを避けようとしたところ、足首に強い痛みを感じ負傷した。
- 遠足の引率で、アスレチック内で児童とおにごっこをしていたところ、誤って転落し負傷した。
- 林間学校の引率中、ぬかるんでいた急坂の道で足を滑らせ、ひねり、膝を痛めた。
- 水泳大会で出発合図係として約60発のピストルを鳴らしたところ、右音響外傷の診断を受けた。
- 遠足引率中、児童の写真を撮るため、遊具から飛び降りたところ、着地時に左足に激痛を感じた。
- 宿泊訓練引率中、児童に呼ばれ急いで行こうとしたところ、木の根っこにつまずき右足首を捻り倒れた。
- 音楽会に児童引率中、児童の傘が入ったビニール袋を抱え階段を下りたところ、滑って転倒し負傷した。

## 教育職員の公務災害で頻出する事故

校種を問わず教育職員の公務災害で、よく見られる事故は「運動中の事故」(37%・全校種における。以下同じ)と、「墜落・転落・転倒事故」(30%)です。「墜落・転落・転倒事故」は全地方公務員で見ても多い案件ですが、その割合は20%に止まっており、教育職員に特に多く見られます。

この2つのいずれかに該当する案件は、全教育職員の公務災害の58%にも上ります。

教育職員は、ある特定の年代に公務災害が集中して発生していることはありません。しかし、右表のように、年齢が高くなるごとに「運動中の事故」は減るが、「墜落・転落・転倒事故」は増えるという傾向が表れています。こうした傾向を把握して、公務災害を未然に防ぐ対策を立てていきましょう。



## 公務災害防止に向けた提言

### 教育職員 へ向けて

- まずは「自分の身は自分で守る」という認識を持つ
- 「公務災害事例」「ヒヤリハット事例」から学ぼう
- 「運動中の事故」に気をつけよう
- 「墜落・転落・転倒」事故に気をつけよう
- 労働安全衛生の知識を習得しよう
- 過重労働を控え、悩みを抱え込まず精神のバランスを保とう
- 経験は「宝」。積み重ねて危機への「対応力」を上げよう
- 必要な「情報共有」は確実に行おう
- 「労働安全衛生活動」の意義を認め、積極的な参加・協力をしよう
- お互い支え合える職場づくりを心がけよう



### 校長・ 管理職 へ向けて

- 「労働安全文化」を根付かせるため、校長はリーダーシップを発揮しよう
- 「衛生推進者」「衛生管理者」などの人材を大いに活用しよう
- 労働安全衛生に係る職員の提案を生かそう、まかせてみよう
- 労働安全衛生活動は、リスク除去・低減を図る具体的な対策を目指そう
- 職員のリスクへの対応力を上げる人材強化を心掛けよう
- 継続的に取り組もう
- メンタルヘルス・過重労働対策を推進しよう
- 風通しの良い職場づくりを目指そう



### 教育委員会 へ向けて

- 「労働安全衛生規程」を定め、意思、責任者、立場を明確化しよう
- 継続的に取り組もう
- 労働安全衛生に関する校長の意識を高めよう
- 「衛生推進者」「衛生管理者」などの人材育成を行おう
- 多くの教育職員に安全教育を実施しよう
- 各学校現場の労働安全衛生文化の育成状況を確認しよう
- 現場の自主的な活動に資する教材等の開発を検討しよう
- 適宜、必要な情報提供や啓発を行ってこよう
- 知恵と工夫のある取り組みを心掛けよう
- メンタルヘルス・過重労働対策を推進しよう

